

# 半田市地域公共交通網形成計画（案）

## 概要版

平成30年2月

半田市地域公共交通会議

# 1. 半田市における地域公共交通の課題

上位・関連計画で示される半田市が目指すまちづくりの方向性を踏まえ、半田市の人口動向、主要集客施設の立地状況及び交通流動特性などの地域概況や、半田市における公共交通サービス及び利用の現状、各種ニーズ調査結果より得られた市民・利用者の公共交通に対する意向を踏まえ、半田市における地域公共交通の主な課題を以下に整理します。

## 半田市の地域公共交通に関する主な課題

①人口集積が高い地域への移動ニーズへの対応

②現行の公共交通利用者の移動ニーズへの対応

③地区や生活圏で異なる地域住民の移動ニーズへの対応

④半田市が目指すまちづくり及び観光振興への対応

# 2. 計画の区域と計画期間

## ■半田市地域公共交通網形成計画の区域

本計画は、市内公共交通全体の再編を一体的に取り扱うことから、計画区域は半田市全域とします。なお、隣接市町との連携にあたっては、個別に協議・調整を図ります。

## ■半田市地域公共交通網形成計画の計画期間

上位・関連計画で示される将来都市像の更新を踏まえた市民等の移動ニーズの変化に対応するため、本計画の計画期間は平成30年度～34年度までの5か年とします。なお、計画期間内であっても、公共交通の利便性や安全性に配慮した個別見直しは、適切な時期に実施します。

### 3. 地域公共交通の基本方針及び計画の目標

半田市の地域公共交通の課題への対応や半田市が目指す将来都市構造の構築を支援する公共交通ネットワークの再編に向け、交通将来像を定めるとともに、地域公共交通の基本方針を示します。また、半田市が目指す交通将来像の達成度を検証するため、地域公共交通の基本方針に基づき、4つの目標及び目標値を設定します。

#### 交通将来像

**「おでかけ環境が充実した 住み続けたいまち 半田」**

#### 半田市地域公共交通網形成計画の目標と目標値

**全体目標** 「おでかけ環境が充実した 住み続けたいまち 半田」の実現  
**目標値** 市内の鉄道・バス利用者数の増加  
普段の生活の中で公共交通を利用する人の満足度の向上



**基本方針Ⅰ** 半田市の一体性の強化及び観光施設・イベントを回遊できる公共交通ネットワークの再編

**目標** 公共交通が多様な目的で利用されます。  
**目標値Ⅰ-1** 普段の生活の中で公共交通を利用する人の割合の増加  
**Ⅰ-2** 観光企画切符の販売枚数

**基本方針Ⅱ** 半田メインストリートにおける公共交通サービスの充実

**目標** 公共交通が中心拠点への来訪手段として利用されます。  
**目標値** 中心拠点内へ来訪する際に鉄道・バスを利用する人数の増加

**基本方針Ⅲ** 各生活圏のおでかけニーズに対応した公共交通サービスの確保

**目標** 地区路線が普段のおでかけで利用されます。  
**目標値** 公共交通で目的地に行くことができる割合の増加

**基本方針Ⅳ** 関係者が連携・協働し公共交通を支え育む仕組みの構築

**目標** 公共交通への関心や愛着が高まります。  
**目標値** 地域が関係者と連携・協働した取り組みの件数

## 4. 計画の目標を達成するために行う事業・実施主体

### ■公共交通ネットワークの再編

ここでは、半田市の公共交通ネットワークを構成する鉄道、バス及びタクシーの各路線に期待する機能を整理するとともに、本計画における公共交通ネットワーク再編の方向性を示します。

表 半田市の地域公共交通の路線機能

種類	路線機能	該当する路線・地区
広域公共交通軸	隣接市町や名古屋市方向を結ぶ都市間移動ニーズに対応する路線	JR武豊線 名鉄河和線
基幹路線	市内人口集積地と中心拠点を結ぶ路線 市域の一体性を強化し、半田市の魅力を創出する路線 半田メインストリートにおける移動の利便性を確保	常滑線 (仮称) 北部幹線
地区路線A	既存路線バスによるサービスが提供されていた地区や主要観光地を結ぶ移動ニーズに対応する路線	亀崎・有脇地区 青山・成岩地区 半田・岩滑地区
地区路線B	基幹路線や地区路線Aがサービスされない地区の移動ニーズに対応するサービス	基幹路線や地区路線Aがサービスされない地区
タクシー	個別の移動ニーズに対応するとともに、上記公共交通だけではカバーできない移動ニーズに対応	市内全域

#### 【公共交通ネットワーク再編の方向性】

- JR武豊線及び名鉄河和線を広域公共交通軸とした公共交通ネットワークを形成します。
- 常滑線は、新たに青山駅へ乗り入れます。
- (仮称)北部幹線は、半田市北部の人口集積地と中心拠点を結ぶ路線に再編します。
- 地区路線Aは、地域住民と半田市が協働で路線を導入します。
- (仮称)観光線は、市内の主要な観光施設を回遊します。
- 地区路線Bは、地域住民が主体的に路線を導入します。
- 交通結節点では、待合環境や乗継環境を充実します。

図 基幹路線と地区路線 A の路線図

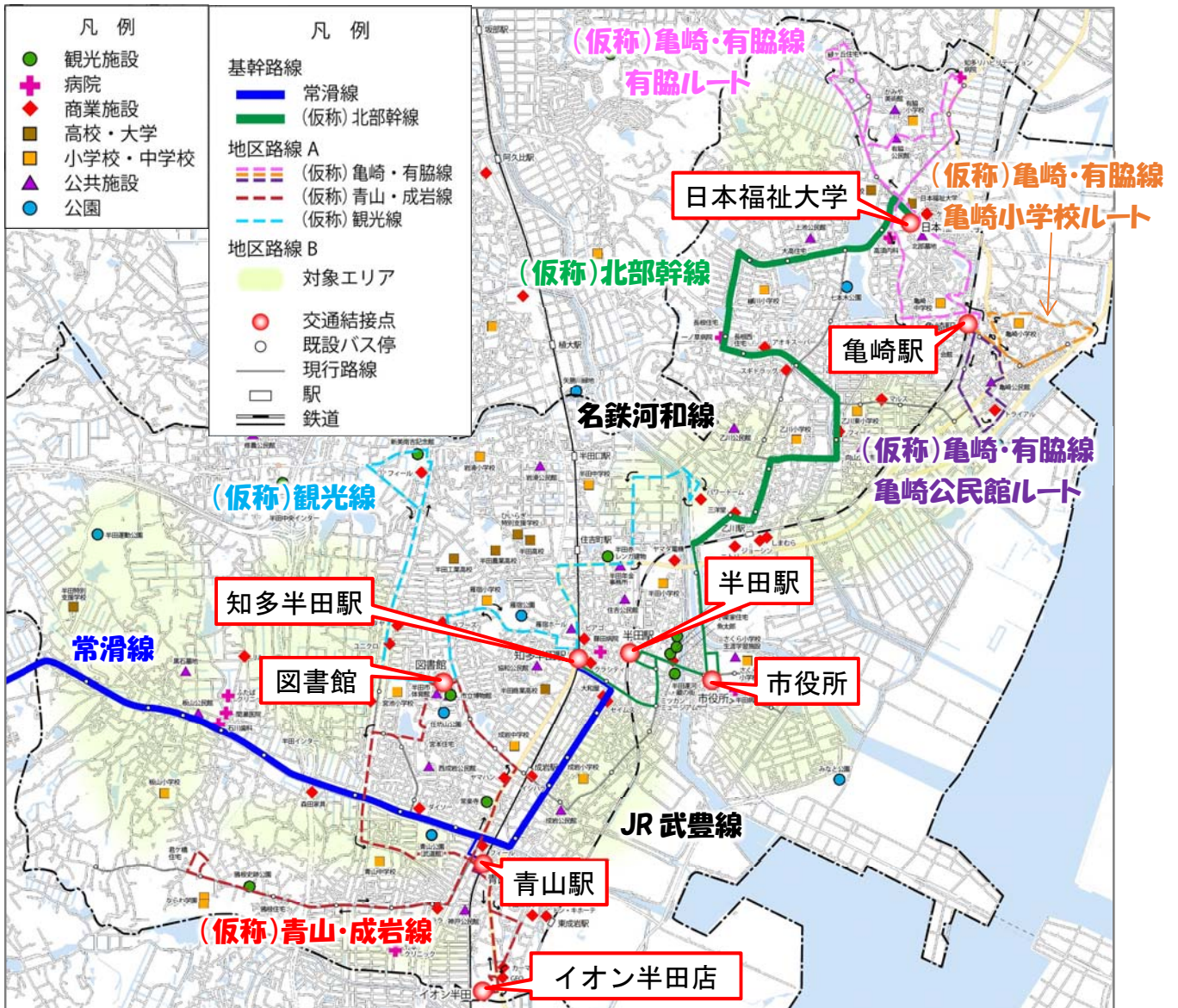


表 基幹路線と地区路線 A の運行概要

種類	路線名	運行日	運行時間帯	運行頻度	料金
基幹路線	常滑線	毎日	6～21時台	概ね30分に1本	半田市内は上限200円の対距離制運賃 常滑市内区間は対キロ制運賃
	(仮称) 北部幹線	毎日	6～21時台	概ね30分に1本	上限200円の対距離制運賃
地区路線 A	(仮称) 亀崎・有脇線 ・ 亀崎小学校ルート ・ 亀崎公民館ルート ・ 有脇ルート	毎日	6～19時台	概ね90分に1本	1乗車100円の均一料金
	(仮称) 青山・成岩線	毎日	6～19時台	概ね60分に1本	1乗車100円の均一料金
	(仮称) 観光線	毎日	6～19時台	概ね60分に1本	1乗車100円の均一料金

※市内で同一路線を除くバス相互の乗り継ぎをした際でも上限200円



## ■公共交通の利用促進施策

市民から地域の公共交通として愛され、親しまれるとともに、利用が楽しく、次も利用したくなる環境づくりを進めるため、地域公共交通に関わる全ての関係者が協働で各種利用促進施策を実施していきます。

### 1. 利用者目線の利用しやすい環境整備・情報提供

	具体的な取り組み	実施主体
①利用しやすいバス車両の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バス車両のバリアフリー化の推進（車椅子対応、ワンステップバス等）</li> <li>●低公害型車両の導入</li> </ul>	半田市・交通事業者
②公共交通利用に係る積極的な情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>●総合交通マップやポケット時刻表等の作成</li> </ul>	半田市・交通事業者
③わかりやすいバス系統やバス停名の表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バス停やバス車両への表示</li> <li>●最寄り施設がわかるバス停名の設定</li> </ul>	半田市・交通事業者
④乗り継ぎの不安を解消する案内表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交通結節点における乗継案内（乗継路線や乗継先の目的地等）の提供</li> <li>●交通結節点における乗り継ぎが可能となるダイヤ設定</li> </ul>	半田市・ 地域・交通事業者

### 2. 公共交通への利用転換

	具体的な取り組み	実施主体
①企画切符の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>●観光施設と連携した企画切符の導入</li> <li>●商業施設と連携した企画切符の導入</li> <li>●1日乗車券の導入</li> </ul>	関係団体・半田市・ 交通事業者
②免許返納者に対する公共交通利用の特典	<ul style="list-style-type: none"> <li>●免許返納者に対する公共交通利用の特典</li> </ul>	半田市・半田警察署
③公共交通利用に向けた意識転換	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特定地域や転入者を対象とした情報ツールの作成</li> </ul>	半田市・ 地域・交通事業者
④待合・乗降環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交通結節点等のバス停における待合環境（ベンチや屋根）の整備・充実</li> <li>●商業施設や公共施設でのバス待合所の整備</li> <li>●バス停付近の段差解消</li> </ul>	半田市・交通事業者
⑤タクシーによる新たなサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>●観光でのタクシーサービス</li> <li>●子育てタクシーの導入</li> <li>●空きタクシーの活用</li> </ul>	交通事業者・半田市

### 3. バスに対する愛着の向上

	具体的な取り組み	実施主体
①関係団体との連携によるバス利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バスの乗り方教室の開催</li> <li>●モデルルート作成の作成・周知</li> <li>●イベント実施時のバス利用促進</li> <li>●沿線イベントとの協賛</li> </ul>	関係団体・ 半田市・交通事業者
②地域企業によるバス利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域企業とのタイアップ</li> <li>●通勤時のバス利用促進</li> <li>●バス車内での広告掲示</li> <li>●バス停のネーミングライツ</li> </ul>	地域企業・ 半田市・交通事業者
③高校や大学と連携したバス利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バスを利用した通学の呼びかけ</li> <li>●バスを利用したアクセス方法の掲載</li> </ul>	高校・ 日本福祉大学・ 半田市・交通事業者
④地域住民主体によるバス利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バス車内での絵画展の開催</li> <li>●バス停周辺の清掃</li> <li>●バスを利用した地域活動の開催</li> <li>●地域での回数券の購入</li> </ul>	地域・ 半田市・交通事業者

# ■事業の実施スケジュールと実施主体

本計画で実施する各事業の実施スケジュールと実施主体を整理します。

表 事業の実施スケジュールと実施主体

事業名	内容	事業実施準備・検討												実施主体
		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度		事業実施		
		上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
1. 基幹路線	常滑線 (青山駅への乗り入れ)													交通事業者(半田市の補助)
	(仮称)北部幹線 (路線の再編)													交通事業者(半田市の補助)
2. 地区路線	(仮称)亀崎・有脇線 (路線の再編・新設)													半田市・地域・交通事業者
	(仮称)青山・成岩線 (路線の再編・新設)													半田市・地域・交通事業者
	(仮称)観光線 (路線の新設)													半田市・地域・交通事業者
	地区路線B (路線の新設)													地域・半田市・交通事業者
3. 料金体系	地区路線Aの再編・新設													地域・半田市・交通事業者
	地区路線Bの導入													地域・半田市・交通事業者
4. 交通結節点	運賃の見直し・割引制度の導入													半田市・交通事業者
	交通結節点整備													半田市・交通事業者
5. 公共交通利用促進	利用者目線の利用しやすい環境整備・情報提供													半田市・日本福祉大学・交通事業者
	公共交通利用促進	知多半田駅、青山駅の整備(待合環境の充実、バス停付近の路面標示等)												半田市・交通事業者
		日本福祉大学バス停の整備(バスロータリー整備等)												半田市・交通事業者
	公共交通利用促進	図書館バス停、市役所バス停、半田駅、亀崎駅、イオン半田店の整備(待合環境の整備等)												半田市・交通事業者
		利用しやすいバス車両の導入(バス車両のバリアフリー化の推進等)												半田市・交通事業者
公共交通利用に際する積極的な情報提供(総合交通マップやポケット時刻表等の作成)													半田市・交通事業者	
公共交通利用促進	わかりやすいバス系統・バス停名の表示(バス停やバス車両への表示等)													半田市・交通事業者
	乗り継ぎの不安を解消する案内表示(交通結節点における乗継案内の提供等)													半田市・地域・交通事業者
	企画切符の導入(観光施設と連携した企画切符の導入等)													関係団体・半田市・交通事業者
	免許返納者に対する公共交通利用の特典													半田市・半田警察署
	公共交通利用に向けた意識転換(特定地域や転入者を対象とした情報ツール作成)													半田市・地域・交通事業者
公共交通利用促進	待合・乗降環境の充実(交通結節点等のバス停における待合環境(ベンチや屋根)の整備・充実)													半田市・交通事業者
	タクシーによる新たなサービスの提供(観光でのタクシーサービス等)													交通事業者・半田市
	関係団体との連携によるバス利用促進(バスの乗り方教室の開催等)													関係団体・半田市・交通事業者
	地域企業によるバス利用促進(地域企業とのタイアップ等)													地域企業・半田市・交通事業者
	高校や大学と連携したバス利用促進(バスを利用した通学の呼びかけ等)													高校・日本福祉大学・半田市・交通事業者
地域住民主体によるバス利用促進(バス車内での絵画展の開催等)													地域・半田市・交通事業者	

※地域には地域住民を始め、地域の各種団体、企業、事業者を含む

## 5. 計画の達成状況の評価に関する事項

### ■評価の考え方とスケジュール

本計画で実施する事業は、事業計画、事業実施、評価・検証、改善策の検討といったPDCAサイクルを毎年繰り返して実施することで、より良い公共交通を実現します。また、実施した事業の効果や目標の達成状況の評価結果及び改善に向けた取り組み内容を市民等へ公表し、関係者間で共有することで改善につなげていきます。なお、半田市地域公共交通会議は、事業の実施や評価検証のタイムラインを考慮し、必要に応じて適宜開催します。

表 評価のスケジュール

	実施予定年度																				
	平成29年度			平成30年度			平成31年度			平成32年度			平成33年度			平成34年度			平成35年度		
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	
半田市地域公共交通 網形成計画の策定 (Plan)	● 計画策定																				● 計画改定
事業の実施 (Do)	● 事業内容の確定																				
ネットワーク全体での 評価検証 (Check)																					
半田市地域公共交通 網形成計画の見直し (Action)																					
半田市地域公共交通 会議の開催時期																					

＜評価・検証の流れ＞

- ① 本計画の評価・検証、改善策の検討は、半田市地域公共交通会議で実施
- ② 毎年、各事業の実施状況や各バス路線の運行・利用状況及び目標値の達成状況を評価・検証
- ③ 目標値が達成できていない場合は、その要因を分析し、改善策を検討
- ④ 目標年次の平成34年度を最終年度として、上位関連計画の見直し等を踏まえ、半田市地域公共交通網形成計画の見直しを実施